



# ひばい

立山町立釜ヶ淵小学校  
ひばり級 学級だより  
令和3年 3月号

## フラフープ、がんばった！

3月3日(水)は「絆・笑顔 MAX 六年生ありがとう集会」でした。  
二年生のお出し物は「ハッピーフラフープ」です。

フラフープを回しながら「NiziU」の「Make you happy」のダンスを踊る難しいものでした。

K 「六年生、もうすぐいなくなる？」

担任「そうだね」

K 「いつ？」

担任「3月18日の卒業式の次の日からだよ」

K 「さみしい」

担任「そうだね。」

だから、大好きな六年生にかっこいいダンスとフラフープを見せて、ありがとうの気持ちを伝えようね」

K 「うん」

本番では、手や腰を振りながらキレッキレなダンスを披露し、フラフープを回しました。集会で一番心に残ったことを尋ねると「フラフープ」「がんばった！」と笑顔で答えた K 君。

大好きな六年生に「ありがとう」の気持ちを「ハッピーフラフープ」で伝えられたようです。



## 「ぼく、一人で帰る。だって、もうすぐ三年生だから」

2月26日(金)の下校時。

K 「先生、今日、家まで来る？」

担任「行きません。」

K 「どうして？」

担任「だって、今、K 君は一人でも家に帰られるように先生と練習をしているの。家までついていくと、練習にならないでしょう。」

K 「もうすぐ3年生だから？」

担任「そうだよ」

K 「ぼく、一人で帰る。だって、もうすぐ3年生だから」

担任「本当に？玄関でお別れしてもいいの？」

K 「うん」

玄関でお別れし、すぐに2階のバルコニーから K 君の様子を見ていました。後ろを振り返りながら、ニコニコ笑顔で帰る K 君。意気揚々と学校を出た K 君ですが、一人ぼっちで帰る道は、とても心細かったらうと思います。よくがんばりました。ご家庭でも、K 君の思いを尊重しご家族でお迎えに来たり、一人で帰宅を促してみたりしながら、挑戦する気持ちをはぐくんでいただければ幸いです。

一人でも がんばって帰る！



## 2年間、教育活動にご協力くださり、ありがとうございました。

釜ヶ淵小学校 学校経営方針 重点目標

### 学ぶ楽しさ、仲間と取り組むよさが分かる子供

1 楽しくなければ学校じゃない

☆子供をその気にさせる(夢・志をもたせる)指導「面白そう」「できそう」

2 楽しいだけでは学校じゃない

☆自己実現に必要な力を身に付け、生かす機会の創出「がんばろう」「できるようになりたい」

3 でもやっぱり学校は楽しい

☆主体性の芽生え「やってみたい」「挑戦しよう」

学校長 尾崎 斉

昨年度の4月、大好きな食べ物の絵を描きました。K君が描こうとしたのは「バナナ」の絵でした。描こうとして、手がびたりと止まり「先生(描いて)」と私にクレパスを渡しました。K君は「ぼくにはうまく描けない」「上手に描けないから、先生に描いてもらおう」という思いから私にクレパスを持たせたのだと思うのです。

わずか6年しか生きていない子供が、人と比較し「自分にはできない」という思いをもち、のびのびと絵を描くことができないということは、とても悲しいことです。

尾崎校長の学校経営方針重点目標のもと、1番の目標を1日1度は実践するようにしました。「やりたい」とK君が伝えてくれたことを一緒に実行すると「**学校、楽しい**」とにっこり笑顔。とても嬉しかったです。

始めはノートを2行書くのも「無理。1行だけ」(K)と話していましたが、今では漢字10個を5分で書き、5行位の連絡帳も書けるようになりました。K君が「**2年生の漢字を書けるようになりたい!**」という強い思いを持っていたからこそ、字を書く力が身についたのだと思います。

卒業生へ感謝の気持ちを込め、お祝いの飾りを作るときも「**ぼく、やる**」と作品を作りました。主体性をもって挑戦しようとする姿が増えました。

楽しいとき、必要感をもったとき、集中する姿はK君の美点です。これからも、自分の良さや強みを生かし、力をつけてほしいと願っています。2年間、学校教育活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。



最後まで書き終えた  
19冊のノート・ドリルタワー!



卒業生に「ありがとう」の  
気持ちをこめて